

平成 16 年 度

決算報告書

第 1 期

自 平成 16 年 4 月 1 日

至 平成 17 年 3 月 31 日

国立大学法人 名古屋大学

平成16年度 決算報告書

国立大学法人 名古屋大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算 - 予算)	備考
収入	76,619	77,958	1,339	
運営費交付金	36,195	36,195	0	
施設整備費補助金	752	749	3	(注1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	9	29	20	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	1,205	1,162	43	(注3)
自己収入	27,770	27,738	32	
授業料及び入学金及び検定料収入	9,189	7,909	1,280	(注4)
附属病院収入	18,330	19,483	1,153	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	251	346	95	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	4,785	6,192	1,407	(注7)
長期借入金収入	5,903	5,893	10	(注8)
計	76,619	77,958	1,339	
支出	76,619	76,199	420	
業務費	59,930	58,445	1,485	
教育研究経費	36,946	35,595	1,351	(注9)
診療経費	16,916	17,482	566	(注10)
一般管理費	6,068	5,368	700	(注11)
施設整備費	7,860	7,804	56	(注12)
船舶建造費	0	0	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	4,785	5,877	1,092	(注13)
長期借入金償還金	4,044	4,073	29	(注14)
計	76,619	76,199	420	
収入 - 支出	0	1,759	1,759	

予算と決算の差異について

- (注1) 入札結果に基づく契約確定額の減により予算額に比して決算額が3百万円減額となった。
- (注2) 補正予算措置により予算額に比して決算額が20百万円増額となった。
- (注3) 入札結果に基づく契約確定額の減により予算額に比して決算額が43百万円減額となった。
- (注4) 授業料及び入学金及び検定料については、主として17年度入学生に係る前受け授業料を翌年度に徴収することにより、予算額に比して決算額が1,280百万円減額となった。
- (注5) 附属病院収入については、手術件数の増等により予算額に比して決算額が1,153百万円増額となった。
- (注6) 雑収入については、主として学校財産貸付料(33百万円)や大型計算機等機器利用料(27百万円)などの増により、予算額に比して決算額が増額となった。
- (注7) 受託研究及び寄附金の受入れ増等により、予算額に比して決算額が1,407百万円増額となった。
- (注8) 入札結果に基づく契約確定額の減により予算額に比して決算額が10百万円減額となった。
- (注9) 教育研究経費については、教員定員の5%を全学運用定員として確保したことによる減により、予算額に比して決算額が1,351百万円減額となった。
- (注10) 診療経費については、手術件数の増等による診療費用増により予算額に比して決算額が566百万円増額となった。
- (注11) 一般管理費については、光熱水料の一部を産学連携等研究費及び寄附金などの経費での支出に変えたことにより、予算額に比して決算額が700百万円減額となった。
- (注12) 入札結果に基づく契約確定額の減により、予算額に比して決算額が56百万円減額となった。
- (注13) 注7に示した理由により予算額に比して1,092百万円決算額が増額となった。
- (注14) 長期借入金については、補正予算措置による施設整備資金貸付金償還時補助金(20百万円)の増及び16年度新規借入に伴う利息分(9百万円)の増により、予算額に比して29百万円決算額が増額となった。